

箕面市の概要

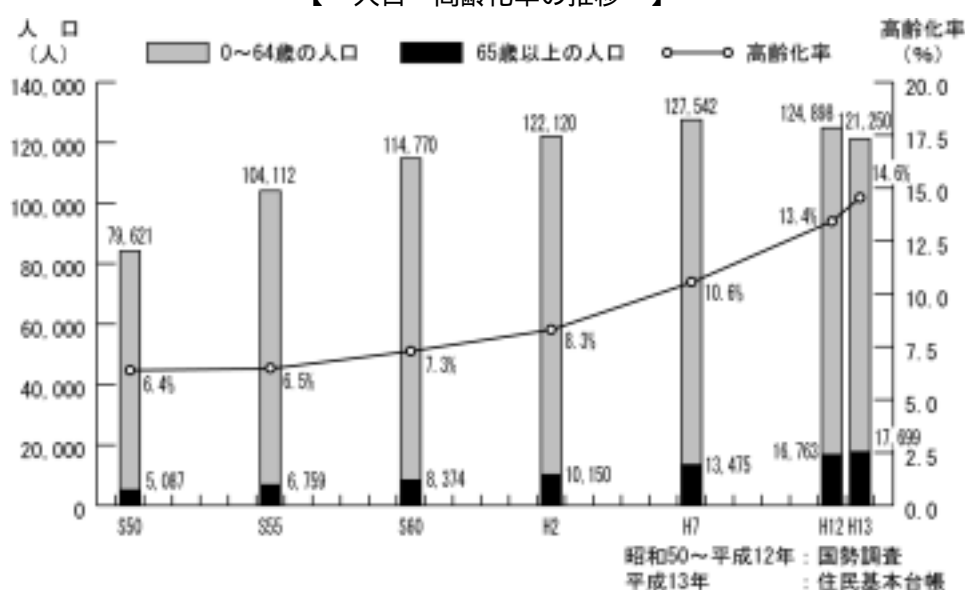
1. 人口

(1) 人口・高齢化率の推移

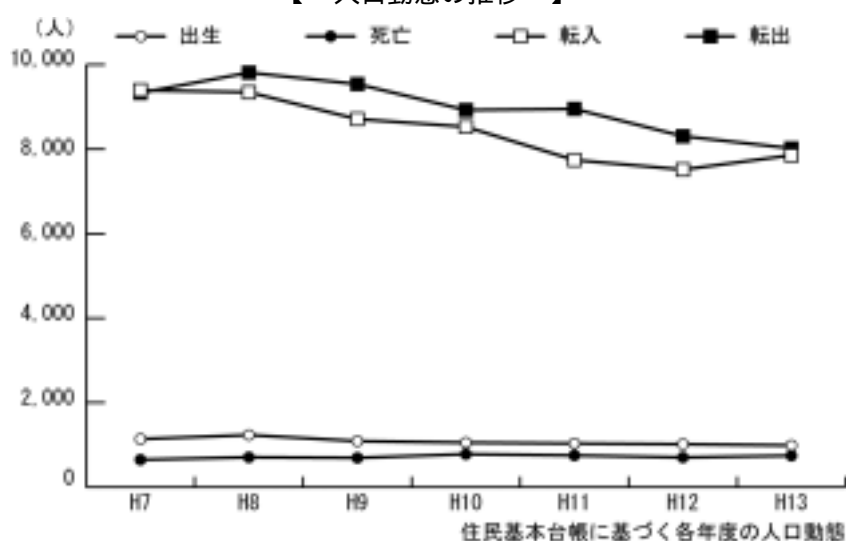
箕面市の人口は平成8年をピークに減少傾向にあり、平成13年には121,250人となっている。一方、65歳以上の高齢者人口は増加し続けており、平成13年には17,699人となっている。この結果、高齢化率は上昇し続けており、平成13年には14.6%となっている。

また、人口動態をみると、平成8年以降、社会動態では転出者数が転入者数を上回る転出超過の傾向が続いている。一方、自然動態では、高齢化にともなう死亡者数の増加とともに、出生者数の減少が続いており、少子・高齢化が進行していることがうかがえる。

【 人口・高齢化率の推移 】



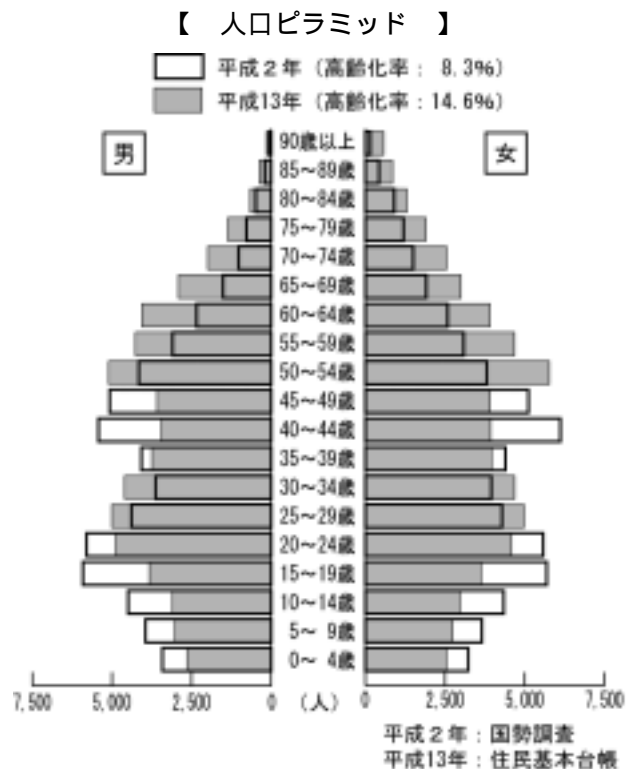
【 人口動態の推移 】



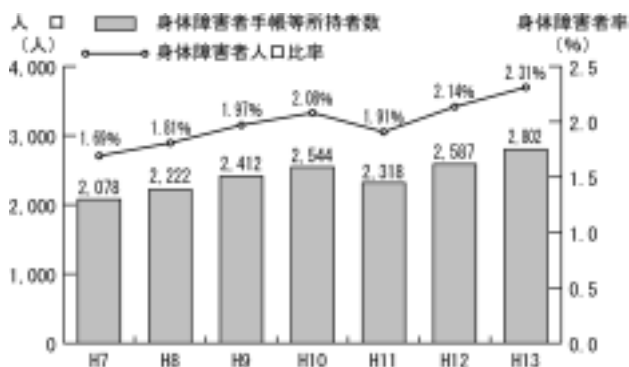
(2) 年齢別人口及び障害者の状況

平成2年と平成13年の年代別人口の比較を行うと、50歳代以上の各年代で人口が増加しているのに対し30歳未満では全ての年代で人口が減少しており、高齢者の増加とともに若年者の減少により急速に高齢化が進行していることがうかがえる。

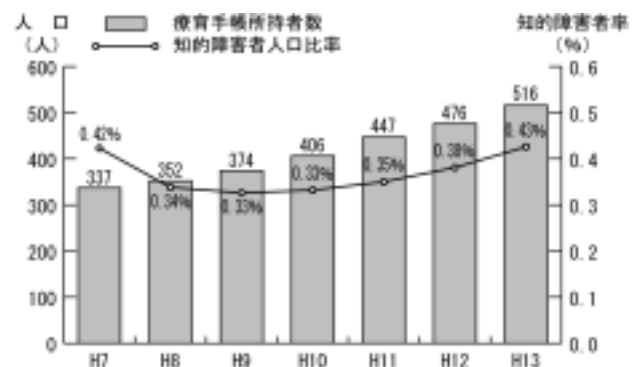
一方、身体障害者手帳等や療育手帳の所持者数は、増加傾向を示しており、平成13年には各々2,802人（総人口の2.31%）、516人（総人口の0.43%）となっている。



【 身体障害者数の推移 】



【 知的障害者数の推移 】



さらに、地域別に高齢者数をみると、箕面や百楽荘、桜、桜井、桜ヶ丘といった阪急電鉄箕面線沿線の高齢化率が高いほか、老人福祉施設が立地する白島で高齢化率が高くなっている。また、身体障害者数についても、市域の東部では2.0%未満の地域が多くみられるのに対し、阪急電鉄箕面線が通る市域の西部の各地域では2.0%以上と身体障害者人口比率が高くなっている。

